

◎学校教育目標

夢や希望をもち、
心豊かでたくましく
自ら学ぶ浅野の子

◎めざす子ども像



◎取り組みの重点



子どもに寄り添い、共に学ぶ教師

地域・家庭と共に歩む学校

「子どもを主体とした」授業づくり・活動づくり
 発達段階に応じた学級・学年経営に重点をおき職員の研究と修養を充実させ、お互いの悩みや課題を協力して解決していける職員集団の形成
 ○学年経営・不登校支援・いじめ対応などチームで迅速に行う。
 ・教科担任制 ・学年集会 ・不登校・いじめ対策委員会を増やす
 ○「授業を見合う場」を大切に、学年で指導案を作り上げることに
 より、お互いに学び合う機会を設定
 ○専門性を生かして、「児童のよさ」を引き出す指導法について学び合う機会を設定
 ○児童の「多様性」を認め、児童に寄り添い支援するための態度や方法について学び合う。
 ○学校行事を保護者や地域と協力しながら作り上げることで、みんなで子どもを育てるという意識を醸成する。

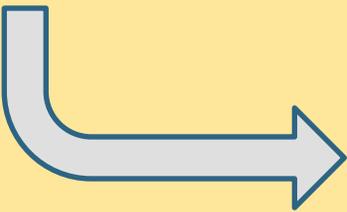
◇自由参加型ボランティアの導入
 ・各種ボランティア（授業支援・環境整備・情操教育）
 ◇地域人材の活用
 ・様々な分野で活躍している方からの講話（キャリア教育）
 ・浅野の地の歴史的背景についての講話（郷土学習）
 ・スポーツ選手などの招待
 浅野の地ならではの地域理解
 ・つつじ祭への作品の出展や参加
 ・芝馬祭への参加
 ・町民運動会への参加
 ・西成連区の活動への参加
 ◇教育活動の発信
 ・学年・学級便り・保健便り・カウンセラー便り等の発行
 ・授業公開・学習発表会・浅野っ子展・なわとび授業
 ・ホームページの充実

◎全校研究テーマ

研究主題「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指した授業づくり
— 算数科を中心とした「振り返り」の蓄積と日常的な ICT 活用を通して —

◎取り組みの具体

- ・算数科における「スプレッドシート」を活用した振り返りの蓄積
- ・AI機能を持ったアプリの効果的な活用
- ・実践事例共有のための「Google Classroom」の新設と活用
- ・情報ツール「Canva ホワイトボード」等を活用したグループ活動の推進（協働的な学びの充実）
- ・校務の効率化と日常的な ICT・生成 AI の活用推進
- ・ICT や AI の活用によって生み出された時間を、教材研究や児童と直接向き合う時間へと還元し、授業の質向上と教職員の働き方改革の両立を図る。
- ・南部中学校区「学習ルール6か条」を遵守した授業計画



- 1 チャイムの前に着席します。
- 2 正しい姿勢で授業を受けます。
- 3 意見があるときは手を挙げます。
- 4 呼ばれたら「はい」と返事をして立ちます。
- 5 みんなに聞こえる声で、「～です」と答えます。
- 6 次の授業の準備をしてから放課にします。